

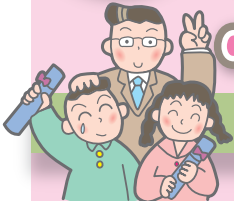
3

2024

三重病院

ニュースレター

news letter vol.290



01 “口腔ケア”って?

《北3病棟》病棟紹介

02 能登半島地震一医療班の活動報告
通所支援事業のひとコマ
やまばとギャラリー情報コーナー

1病棟のせいかつ

2病棟の子どもたちの生活のひとコマ

03 5病棟の生活のひとコマ⑧

異動のごあいさつ

今月のみえツウちゃん

04 病院からのお願い
外来診察のご案内

“口腔ケア”って

最近「口腔ケア」という言葉をよく耳にしませんか？乳幼児から老人まですべての年齢層を対象によく使われてる言葉です。しかし、よくよく考えてみると何とも曖昧な言葉に思えてきます。歯が生える前の乳幼児のお口の中と歯が1本もない老人のお口の中は同じ口腔ケアよいのでしょうか？

厚生労働省のホームページで「口腔ケア」とは口腔疾患および気道感染・肺炎に対する予防を目的とする清掃とされています。それに加え、機能障害に対する予防、治療、リハビリテーションを目的とする「口腔機能訓練」も含む内容となっています。すなわち乳幼児から歯の無くなった老人まで一人一人に「口腔ケア」があるはずで。

口腔ケアという言葉が一人歩きしたのは、2001年の「要介護者に対する毎日の口腔清掃に週1回のみ専門職が行った場合、約10%に誤嚥性肺炎の軽減を認めた」と報告され、さらに2006年に「高齢者に対する口腔ケアの方法と気道感染予防効果等に関する総合的研究」で、同じく高齢者施設の口腔清掃に週1回のみ歯科医師・歯科衛生士の専門職が口腔清掃を行なった群では約30%の発熱が軽減したと報告されました。これらの報告に基づき、2013年には全身麻酔患者での手術や抗がん剤および放射線治療を受ける場合に発熱や誤嚥性肺炎の軽減を目的に「医科歯科連携で専門職による口腔清掃や治療等による保険診療」が導入になり、同時に「口腔ケア」という言葉と必要性が定着しました。さらに一般社団法人日本口腔ケア学会は



「口腔ケア」を行うことで虫歯や歯周病の予防に加え、咀嚼など訓練が脳の活性化につながり、認知

症予防にも重要であると提唱しています。以後、「口腔ケア」が心疾患や糖尿病など全身の疾患の進行に大きな関わりを示す多数の報告から、健康な私達の毎日の歯磨きも予防に対する立派な“ケア”として確立されてきました。

国の「基本方針2023(骨太の方針)」より口腔の健康に関する国民への適切な情報提供が盛り込まれ、さらに「健康日本21」では社会生活の質の向上に歯・口腔の健康づくりが重要であり、生活習慣病の発症予防への取り組みが必要であると記載されました。この一文ですべての国民の健康維持に「口腔ケア」が推進されることとなりました。三重県亀山市では2023年10月7日よりかめやま健康都市大学が設立され、2024年より健康都市・健康・食・運動の4つのコースから健康コースには「地域の健康～口腔ケアと生活習慣病予防～」の講義と取り組みが開始されます。しかし、実際はまだまだ「口腔ケア」という言葉のひとり歩きが始まったばかりです。更なる健康維持と疾病予防を含め、一人一人に合った適切な「口腔ケア」を考え取り組んでいきましょう。

(歯科口腔外科医長 松村 佳彦)

